

平成19年度実施事業 事業評価シート

事業名:	資源回収団体奨励事業	4-5
・運営の方法(1:直営、2:民間委託、3:補助、4:その他)	複数回答可	4
・事務の分類(1:自治事務、2:法定受託事務)		1

担当部課	市民生活部ごみ対策課	直通電話	72-3126
担当部長	川又 和雄	担当課長	藤岡 修一
		担当者	吉田 恵

1 事業のアウトライン			
(1)事業概要及び交付金額等の積算根拠	資源の有効利用に実績のあった集団資源回収実施団体に奨励金を交付する。回収対象品目の総重量に対し1kg当たり3円		
(2)事業開始年度	平成14年度	(3)事業終了年度	未定
(4)総合計画での事業体系	テーマ等	4 豊かな自然を守り育てる	
	施策項目(大)	(3)資源循環型社会の実現	
	施策項目(小)	ごみ発生抑制と排出抑制のしくみづくり	
	施策コード	40301	

2 事業の内容	
(1)事業の目的 何のために	ごみの減量化と資源の有効利用を図る。
(2)目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	市民や地域が率先しごみのリサイクルと資源の有効利用に取り組む。
(3)事業の方法 どんな手段を講じるのか	事前に登録した団体が、回収対象品目を集団回収し、回収量に応じた奨励金を登録団体に交付する。
(4)19年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	平成19年度に奨励金を1kg当たり5円を3円に引き下げた。
(5)事業の背景・社会状況・他の類似事業など	ごみの減量化と資源のリサイクル・再利用を進めるため、同様の奨励制度は多くの自治体で行っている。
(6)事業の立案や実施における協働の視点	町内会等の団体が、排出者に対する指導や排出者の協力が必要

3 事業に投入した行政資源				
区分	H17	H18	H19	H20予算
(1)直接事業費(千円)	12,966	15,235	8,818	7,620
(2)その他の間接経費(千円)				
(3)従事正職員の人件費(千円)	2,590	2,486	2,691	
総事業費((1)~(3)の合計:千円)	15,556	17,721	11,509	
事務に従事した正職員延べ人数	0.30	0.30	0.30	

4 交付団体の予算・決算 (単位:千円・%)										
区分	H17	H18	H19	H20予算	区分	H17	H18	H19	H20予算	
	市補助金等(A)									
収入					支出					
	計(B)	0	0	0		0				
	(A/B)					計	0	0	0	0

5 事業活動の結果 (単位:千円・%)					
活動指標名		H17	H18	H19	H20
資源回収登録団体数(団体)	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
	実績値	112	120	122	
	達成率	-	-	-	
資源回収量(トン)	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
	実績値	2,594	3,049	2,942	
	達成率	-	-	-	
	目標値				
	実績値				
	達成率				

6 事業の成果		(単位:千円・%)			
成果指標名		H17	H18	H19	H20
家庭ごみ排出量(トン)	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
	実績値	16,096	15,547	10,071	
	達成率	-	-	-	
家庭系ごみ資源化率(%) = 資源回収量 / ゴミ処理量 + リサイクル資源総量	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
	実績値	13.06	15.08	18.55	
	達成率	-	-	-	

7 事業の観点別評価		担当課長が評価します。	
(1) 必要性		(4) 有効性	
ア 市民ニーズ	1 大きい	ア 施策との関連	1 密接な関連がある
社会経済情勢の変化に対する市民ニーズはどうか	2 普通	事業の成果と施策の成果とに関連があるか	2 関連がある
	3 小さい		3 関連はほとんどない
イ 市の関与	1 行政にしかできない	イ 成果	1 すべて達成している
その事業に市が関与する必要があるかどうか	2 民間等でもできる	事業の成果は目標を達成しているか	2 一部達成している
	3 民間等でやるべき		3 達成していない
(2) 効率性		ウ 事業内容	1 極めて妥当
ア コスト削減	1 不可能である	目指す成果の実現を図る上で、今の事業内容は適当か	2 一定の妥当性あり
コスト削減は可能か	2 難しい		3 妥当性が低い
	3 可能である		
(3) 公平性		(1)~(4)の評価ポイント合計	
ア 受益者負担	1 不可能である	総合評価の参考にしてください。	
さらなる受益者負担は可能か	2 難しい	7~11	A or B
	3 可能である	12~15	B or C
		16~21	D or E
		13	

8 課長評価		担当課長が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価			
B	評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)	登録団体数、回収量とも一定の成果が上がっている。	
(2) 今後の方向性・課題		<p>今後は、雑紙類を含め集団資源回収が出来ないか、古紙回収業者を含め調査・検討中であり、雑紙類を含めた回収システムを構築したい。</p>	
(3) 平成21年度の方向性			
*:担当課長	事業内容		
	現状維持 一部見直し 大幅見直し		
事業規模	拡大方向		ミックスペーパー事業を廃止(縮小)し、集団資源回収にシフトしたい。
	現状維持	*	
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		

↓ ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

9 課長評価に対する市民意見	

10 部長(市長)評価		課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価			
B	評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)	登録団体数、資源回収量とも横ばいだが、事業としては安定して実施されている。	
(2) 今後の方向性・課題		今後とも現状の形態で続けていく。	
:担当部長(もしくは市長)	事業内容		
	現状維持 一部見直し 大幅見直し		
事業規模	拡大方向		
	現状維持		
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		